

## フィリピン：コーレさん やっと自由に！

アムネスティが、ライティングマラソンや「拷問なんて、いらない！」キャンペーンなどで5年前から注視してきたジェリメ・コーレさんが3月2日、ようやく釈放されました。



2012年に根も葉もない窃盗と薬物密売の容疑で逮捕されてから丸5年間、勾留されていました。当初の取り調べでは、繰り返し脅しや暴行を受け、自白を強要されました。当初、捜査していた容疑者とは別人だとする情報が他の警察署からよせられているにも関わらず、無視するというでたらめぶりでした。裁判でも、拷問を受けたことは認定されものの、「拷問されたからといって薬物密売の罪が晴れたわけではない」として収監が続きました。

今年1月から、ジェリメさんの薬物関連の罪に関する審理が始まり、3月2日、証拠不十分で不起訴の申立てが認められ、即日の釈放となりました。理不尽な拘禁を経て、ようやく自由の身となったのです。

3月14日には、アムネスティ・フィリピン支部を訪れ、「私のために、また同じように不当に拘束されている人たちのために運動を続けるアムネスティに大変感謝しています」とお礼の言葉をもらいました。アムネスティはこれからもコーレさんと共に、政府に対して法の支配と遵守を徹底して人権を尊重するよう強く求めています。

## ベナン 減刑で死刑囚ゼロに

西アフリカに位置するベナン共和国は2月21日、死刑囚14人を終身刑に減刑すると発表しました。ナイジェリア人、トーゴ人、コートジボワール人を含む死刑囚14人は、18年から20年もの間、死刑の恐怖とともに苛酷な環境に置かれてきました。彼らが、同国最後の死刑囚になります。

「市民的および政治的権利に関する国際規約の第二選択議定書（死刑廃止条約）」の締約国として、同国は、死刑の廃止に向けた措置を取ることを求められてきました。この国際的義務に先鞭をつけたのが憲法裁判所です。2016年1月、「いかなる犯罪にも死刑判決を科してはならない」との裁定を下し、事実上、死刑の全面廃止を宣言しました。今回の減刑措置は、その具体的な措置と言えます。

同国は今後、死刑を認める刑法などを見直し、死刑廃止を法的に明文化する法改正に取り組むことが期待されています。

## 北朝鮮：送還された女性 収容所を免れる

不法出国をしたとして昨年12月3日以来、拘束されていたク・ジョンファさん(24才)と息子(4才)が、政治囚収容所に送られるおそれがなくなりました。

韓国にいるジョンファさんの夫からアムネスティに「当初、妻は3月の裁判で、政治囚収容所に送られるのではないかと心配していたが、そのおそれがなくなったようだ」と連絡がありました。

妻と息子は、昨年11月、他の人たちとともに国境を越えて中国に入り、11月4日に中国で拘束されました。その後、強制送還され、出身地の会寧市の拘禁施設に拘束されました。息子は、11月末に拘束を解かれ、今は祖母宅で生活しています。

夫はアムネスティに対し、妻や息子のために行動を起こしてくれたことが功を奏したとして、感謝していました。これで本件のアクションは終わります。

## ホンジュラス：活動家殺害 2人目の容疑者を拘束

2016年3月、環境活動家ベルタ・カセレスさんが、自宅で何者かに銃で殺害されました。カセレスさんは、先住民民族協議会のリーダーとして、先住民の生活環境を脅かしかねないダム建設の反対運動を主導してきました。

殺害から2年を経て、ようやく捜査に進展があり、殺害に関わった容疑者が拘束されたのです。ダム建設を請け負っていた会社で当時、部長の職にあった人物です。当局は、この容疑者が首謀したとみなしているようですが、大いに疑問があります。というのも昨年公表された第三者の調査で、殺害には政府高官と建設会社幹部が関与している可能性があるとする見解が示されたからです。

先住民民族協議会は、「国際的な運動と連帯が、容疑者逮捕につながった」として、声を上げてくれた人たちに感謝を表明しました。同時に、さらなる真相究明のために、「引き続き当局へ声を上げてほしい」とのことでした。



## 中国：チベット語教育提唱者に不当な容疑

チベット民族のタシ・ワンチャクさんは2016年3月、民族分離を扇動した容疑で逮捕され、その後、起訴されました。有罪になると、15年の刑を受けるおそれがあります。

ワンチャクさんは、青海省の玉樹チベット族自治区が、チベット民族が多数を占めるにも関わらず、学校教育でチベット語を扱わないことに危機意識を持っていました。チベット語教育の復活を求める訴訟に向けた弁護人探しはうまくいかず、この問題を取り上げてほしいと依頼したテレビ局からは拒否されました。一方、ニューヨークタイムズ

は、ワンチャクさんのチベット教育への取り組みに関心を示し、その短編ドキュメンタリー「あるチベット人の正義を求める旅」を制作し、放映しました。この短編映画が伝えたワンチャクさんの活動に対して、当局は、中国の国際的なイメージや信頼性を傷つけ、民族分離を扇動したとして、ワンチャクさんを逮捕しました。

皆さんへのお願いです。ワンチャクさんが正式に逮捕されてから2年経つのを機に、あらためて担当検察庁長官に起訴取り消しを求める手紙書きにご協力をお願いします。

\*下記宛先と英文は、アムネスティのウェブサイトから「UA ワンチャク」で検索して、プリントすることもできます。

宛先

Chief Procurator of Yushu Tibetan Autonomous Prefecture  
People's Procuratorate  
(玉樹チベット族自治州人民検察庁長官)

Yushu Zangzu Zizhizhou Renmin Jianchayuan  
Qionglong Lu, Jiegu Zhen, Yushu Shi  
Yushu Zangzu Zizhizhou  
Qinghai 815000  
People's Republic of China

Dear Procurator,

I urge you to immediately and unconditionally release Mr. Tashi Wangchuk, who is a prisoner of conscience, detained solely for exercising his right to freedom of expression.

Sincerely yours,

### UA ニュース

発行：アムネスティ・インターナショナル日本  
〒101-0052 東京都千代田区神田小川町 2-12-14 晴花ビル 7F  
TEL: 03-3518-6777 FAX: 03-3518-6778  
E-mail: uaoffice@amnesty.or.jp

UA 年会費 3000 円  
郵便振替 00120-9-133251  
加入者名 公益社団法人アムネスティ・インターナショナル日本